

お知らせ

紙の健康保険証の利用期限が迫っています

令和7年12月2日以降、現在お持ちの健康保険証は使用できなくなります。これをきっかけにマイナ保険証を利用してみてはいかがでしょうか。はじめての方も窓口にて簡単に紐付け可能なので、お気軽にご相談ください。また、マイナ保険証をスマートフォンで利用できるスマホ保険証も対応しましたので、利用してみてください。



使うと便利！なサービスのご紹介

待たずにラク～だ

医療費を後払いできる「待たずにラク～だ」が利用できます。専用サイトにて会員登録をすると、通院時に現金を用意する必要がなくなり、キャッシュレス通院が可能になります。



PokeMed(ポケメド)

PokeMed(ポケメド)を利用すると、ご家族の診察券を一括管理ができるため、診察券を持ち歩く必要がありません。その他にも、診察予約の確認なども行えます。



交通アクセスのご案内



お車の場合

キセラ川西プラザ第1駐車場(病院利用者の優先駐車場)
※満車の場合は同プラザ第2・第3駐車場も利用可

電車の場合

阪急宝塚線「川西能勢口」駅より徒歩約12分(無料送迎バスを20~30分間隔で運行) 能勢電鉄「絹延橋」駅より徒歩約7分

無料送迎バス

停留所 時刻	阪急川西能勢口駅 発	川西市立総合医療センター 発
8	15 35 55	
9	15 35 55	25 45
10	15 45	05 35
11	15 45	05 35
12	15 45	05 35
13	15 45	05 35
14	15 45	05 35
15		05

無料送迎バスは「阪急バス1番乗り場」でご乗車ください。
平日(月～金曜日)のみ運行です。
出発から到着までの所要時間は約10分です。

川西市立総合医療センター

Kawanishi City Medical Center

広報誌 セセラギ vol.5 / 2025年11月発行

〒666-0017 兵庫県川西市火打1丁目4番1号

TEL 0570-01-8199 (ナビダイヤル)

<https://www.kawanishi-hospital.jp/>

Seseragi

vol.5
2025
November



高い専門性で地域社会を支え

人生の機能回復を目指す

整形外科

特集

INDEX

02 テクノロジーで QOL を向上させる 人工関節センター

04 マイクロサーチャリーで手に希望を宿す 手の外科

確かな技術で寄り添う リハビリテーション

05 健康寿命の延伸を目指して 外傷治療

06 魅惑のたまご

07 地域医療の輪

08 Information / 交通アクセスのご案内

特集 高い専門性で地域社会を支え人生の機能回復を目指す 整形外科

整形外科は、体の芯になる骨・関節や筋肉・神経の機能改善のため、日々患者さんと向き合っています。治療対象は多岐にわたりますが、専門分野として治療の拠点を担う「人工関節センター」「手の外科」と、同じく力を入れている「外傷治療」「リハビリテーション」について紹介します。

1 テクノロジーでQOLを向上させる 人工関節センター

加齢などで軟骨がすり減ることで起こる変形性関節症は、症状が進行すると歩行困難など日常生活に大きな支障をきたします。市内の高齢化を背景に川西市立総合医療センター内に創設された人工関節センターでは、国内でも事例の少ない先進設備を導入しました。患者様の痛みを取り除き、再び健やかな生活を送れるよう、人工関節置換術を行っています。

耐え難い関節の痛みを解消!

人工関節置換術

進行した変形性膝関節症や股関節症では、立ち上がりや歩行すら困難になることがあります。人工関節置換術は、すり減った関節を人工関節に置き換えることで、痛みを大きく軽減し、再び自分の足で歩けるようにする治療法です。当院では患者様一人ひとりの症状に合わせた治療を行い、退院後、早期に健やかな日常生活を取り戻せるよう支援しています。

整形外科の
ドクター集合!



人工関節手術支援ロボットで 患者様の早期回復につなげる

当院では全国的にも導入例の少ない人工関節手術支援ロボット「Mako（メイコー）」を採用しています。このロボットの特長は、患者様の関節を3Dの立体モデルとして再現した上で精密な手術のシミュレーションを行い、ロボット制御されたアームで手術を実施できます。手術による傷が最小限で済むため、体への負担が少なく早期回復が可能です。多くの方が2週間程度の入院で自立歩行でき、半年後には痛みを忘れるほど回復されるケースもあります。手術を受けた方からは「もっと早くやっておけばよかった」との声も多く聞かれます。



人工関節センター長 菅野 伸彦先生

人工関節手術支援ロボットのメリット



✓ 手術の精度が高まる

✓ 体への負担が少ない

✓ 手術後の回復が早い

▲Mako 3D術前計画に沿って、
医師がアームを操作します

ライセンスを持った医師が複数在籍

教育拠点としての役割も

「Mako」を用いるには特別な研修を受けライセンスを取得する必要がありますが、当院には複数のライセンス保持医が在籍しており、安心して手術を受けていただける体制を整えています。保険適応が認められているため自己負担も抑えられます。患者様にとってのデメリットはほとんどありません。また、「Mako」の導入を検討する他施設の医師の見学や講習を行う教育拠点としての役割も担い、地域だけでなく全国の人工関節治療の発展にも寄与しています。

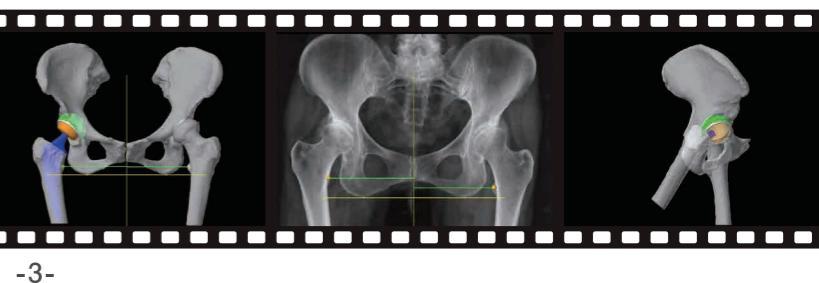
ダメージが少ない場合には関節を温存することも
さまざまな症例に対応できることが強み

変形性関節症といっても、進行度や年齢、生活スタイルによって最適な治療法は異なります。軟骨へのダメージがまだ少ない初期段階では、骨切り術と呼ばれる関節を温存する手術を行うこともあります。人工関節は素材の改良によって耐用年数が長くなっているものの、20代・30代などの若い世代では、将来的な再手術のリスクを考慮し、できる限り関節を温存する選択を行うこともあります。また、変形性関節症などの慢性的な疾患だけでなく、骨折などで早急に手術が必要なケースにも即日で対応可能できる体制を整えています。あらゆる症例に対応できることが、当院の大きな特長です。

整形外科は完全予約制です。
かかりつけ医を通して当院に予約をお願いします。



術前計画の際は、3DのCT画像を確認し、
患者様の関節の状態をつぶさに把握します



マイクロサージャリーで手に希望を宿す

2 手の外科

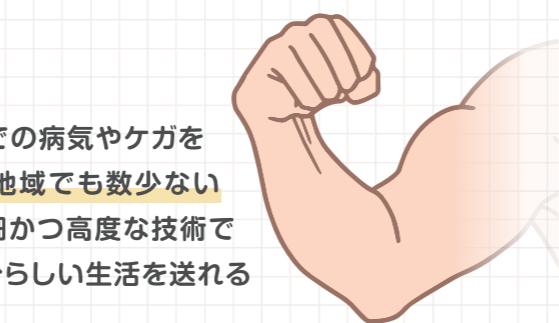
手の外科は、整形外科の中でも腕から指先までの病気やケガを専門に治療する分野です。当院には、阪神北地域でも数少ない日本手外科学会専門医※が在籍しており、繊細かつ高度な技術で手の機能を取り戻すことで、患者様が再び自分らしい生活を送ることを目指しています。

※上肢全般、特に手の疾患に関する医学的スペシャリスト。

日本手外科学会専門医が難易度の高い時から指先までの病気やケガに対応

手の外科では、交通事故や転倒による外傷のほか、スポーツによる肘や手首のケガ、慢性的な痛みやしびれなど幅広い症例を診療しています。特に変形性疾患では手の痛み、しびれなどの症状が出るケースも起きやすいため、整形外科における“手の外科”的役割は多岐にわたるといえるでしょう。また、繊細な血管や神経が関わる領域のため、肉眼ではとらえることのできない神経の治療には、マイクロサージャリー（顕微鏡下手術）という特殊な技術を用いることもあります。阪神北地域では専門医が少ない中、当院には手の外科の症例が豊富な病院で経験を積んだ専門医が在籍しているため、他院では対応が難しい複雑な症例にも取り組むことで、手外科の希少な拠点としての機能も担っています。

患者様が手の動きを取り戻し、再び自分らしい生活を送れるよう医師や作業療法士を中心とした医療チームが一體となって支援しています。



手外科 西本 俊介先生

患者様とのエピソード

さまざまな患者様を覚えていますが、小児期に重度外傷を負った患者様が、治療とリハビリテーションをしながら成長していく、高校生になる頃にはテニスやダンスができるようになるまでに回復された姿を見たことは、感慨深い出来事でした。

確かな技術で寄り添う

4 リハビリテーション

確かな技術に支えられたリハビリテーションで、患者様一人ひとりの回復に寄り添います。手術後の早期回復から、自分らしい生活の再獲得まで、チーム一丸でサポートしています。



理学療法士 吉田 由喜さん

人工関節センター

快適な日常に戻る
リハビリテーションを提供
手術後はストレッチ・筋力強化・動作練習と再学習を中心
に理学療法を実施します。入院中に基礎を仕上げ、退院後
は自主トレで無理なく続けられるプログラムを組んでいます。
人工関節の特性を熟知した理学療法士が、再び快適に歩ける毎日へ導きます。

3 健康寿命の延伸を目指して 外傷治療

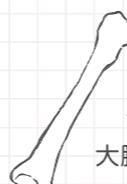
高齢者に多い大腿骨や背骨の骨折は、動けなくなることをきっかけに、体力や認知機能が低下し、生活の質を大きく損なうことがあります。当院では救急科、手術室と連携し、大腿骨近位骨折患者様は可能な限り早期手術を行うことで、合併症を防ぎ、一日でも早く日常生活に戻れるよう支援しています。

骨折患者様が

一日でも早く日常に戻れるように

高齢者の骨折は、早期対応が回復のカギとなります。骨折をきっかけに寝たきりとなり、体力や認知機能が低下するケースも少なくありません。当院では救急科と連携し、搬送された大腿骨近位骨折患者様を48時間以内に手術することを目標に体制を整えています。早期に手術を行うことで、肺炎などの合併症のリスクや痛みに耐える時間を減ら

骨折をせず快適に暮らせるよう健康講座を開催

一度骨折すると、動けなくなることで骨密度や筋力が低下し、さらに骨折しやすくなる悪循環に陥りやすくなります。高齢者に多い大腿骨近位部骨折（足の付け根の骨折）の1年以内の死亡率は10～30%とも言われており、骨折予



「貯筋」のすすめ

万が一の骨折で入院した場合の早期回復のため「食べること」と「体を動かすこと」で、普段から意識的に筋肉を蓄えておくことをおすすめします。しっかり食べることは、誤嚥性肺炎の予防にもつながり、自分で治す力を高める筋肉をつけることにもつながります。



副院長 佐々木 聰先生

し、リハビリテーションの開始を早めることができます。理学療法士・作業療法士・言語聴覚士がチームで連携し、手術翌日からリハビリテーションを開始し、患者様が一日でも早く日常生活へ戻れるようサポートしています。

防の重要性は高いです。当院では転倒・骨折予防のため地域の健康講座を通じて、「貯筋」という考え方——しっかりと食べることや日常的に体を動かすこと、筋肉を蓄える大切さ——をお伝えしています。地域全体で骨折を防ぎ、元気に暮らせる環境づくりを目指しています。

手の外科

ハンドセラピーの知見を持つ
作業療法士が常駐
繊細な手の機能回復には専門的なリハビリテーションが欠かせません。当院ではハンドセラピーの知見を持つ作業療法士が常駐し、単なる機能回復のみではなく、生活で満足に使用できる手の獲得へと導きます。医師と密に連携し、患者様の支援を行っています。



作業療法士 岸嶋 洋昭さん

外傷治療

多職種チームで支える
早期リハビリテーション
手術後はできるだけ早くリハビリテーションを始め、筋力の低下や合併症を防ぎます。理学療法士や作業療法士だけでなく、言語聴覚士が口腔ケアや食事のサポートをするなど、多職種連携をしてチームで、患者様が元の生活に戻れるよう支えます。



言語聴覚士 北阪 宏美さん



卵は 完全栄養食!?

筋力アップ 卵は良質なたんぱく質で、筋肉の修復や成長に必要なアミノ酸をバランスよく含んでいます。運動直後に摂ると効果的で、加熱することで吸収率もアップします。生より茹で卵や半熟卵で食べるのがおすすめです。

脳の活性化 卵には脳の神経伝達物質の材料となるアミノ酸やレシチンが豊富に含まれ、さらにその働きをサポートするビタミンB群もたっぷり。これらは神経の働きを助け、記憶力や集中力の健康維持に役立ちます。

目の老化予防 卵黄に含まれるルテインやゼアキサンチンは、目の網膜に存在し、紫外線やブルーライトのダメージから目を守ります。これらの成分は体内で合成できないため、食事から積極的に摂ることが視力低下予防に役立ちます。

いつもの食事に卵料理をプラスワン!

RECIPE スパニッシュオムレツ

材料 卵2個、じゃがいも1個、玉ねぎ1/2個、牛乳80ml、顆粒コンソメ小さじ1、片栗粉小さじ1、塩・黒胡椒少々、オリーブオイル適量

- ①じゃがいもを短冊切りにし水にさらし、玉ねぎは薄切りにする。じゃがいもを600Wで3分半加熱する。
- ②熱したフライパンにオイルをしき、野菜に火が通るまで炒める。
- ③顆粒コンソメ、牛乳、塩、黒胡椒を加え、煮立ったら水溶き片栗粉でとろみをつける。
- ④ボウルに卵を溶き、③と温かいまま混ぜる。
- ⑤フライパンに多めのオリーブオイルを敷き、④を流し入れ、蓋をして弱火で約5分蒸し焼きにする。
- ⑥片面が焼けたらひっくり返し、両面焼けたら完成。お好みでパセリをふって切り分ける。



RECIPE カンタン温泉卵

材料 卵4個(Mサイズ)

- ①厚手の蓋付き鍋に湯1升を沸かす。
- ②沸騰したら鍋を必ず火から下ろして、水200mL(1カップ)を加えて卵を入れ(冷蔵庫から出したばかりの冷たい状態でOK)、蓋をする。
- ③蓋をして12分待つ(冬場は少し長めで13分程度)。
- ④お玉などで取り出して、生卵を割る要領でパカッと割れば温泉卵のできあがり。

私は毎朝、飲むジュースにたまごを入れて飲んでいます

整形外科 前田 ゆき
医長・人工関節センター医長



監修
栄養科
佐々部 冬子さん(写真左)
中井 佐知子さん(写真右)

魅惑のたまご

卵はビタミンCと食物繊維以外のほとんどの栄養素を含んでおり、「完全栄養食」と呼ばれることもあります。必須アミノ酸バランスに優れ、アミノ酸スコア*は100。ビタミンA、B群、E、D、鉄、亜鉛、カルシウムなど、体に必要な栄養素が豊富に含まれています。日々の食事に手軽に取り入れられる卵で、健康をサポートしましょう。

*100に近いほど必須アミノ酸がバランスよく含まれていることを示すタンパク質の指標。

★ 富山医院



当院は川西市萩原台に1977年に開設され、内科疾患全般の診療を行っていますが、外傷等の外科的処置も可能です。2020年に現院長が継承後は特に呼吸器診療に力を入れています。川西市立総合医療センターとは常に密に連携を取りながら診療を行っています。幅広い診療の間口で、地域の皆様に必要とされる診療所で有りたいと願っています。

住所 川西市萩原台西1丁目90番地
電話 072-757-3051
診療時間 9:00~12:00(月~土)、16:00~19:00(月・火・水・金)
休診日 木曜日・土曜日の午後、日・祝日

★ ふどう整形外科クリニック



ふどう整形外科クリニックは、関節の痛みを専門とする不動院長を始め、専門性の高い医師が質の高い医療を提供。リハビリテーション、デイケア、訪問リハビリ、再生医療にも注力し、地域の元気と笑顔をサポートします。川西市立総合医療センターで手術された方のリハビリも対応。オアシスタウンキセラ川西モール内でアクセス抜群、駐車場800台完備です。

住所 川西市火打1-16-6 オアシスタウンキセラ川西2F
電話 072-756-0555
診療時間 9:00~12:00(月~土)、15:30~18:30(月・火・水・金)
休診日 木曜日・土曜日の午後、日・祝日

地域医療の輪

地域医療連携 登録医紹介



川西市立総合医療センターでは、地域の医療機関との連携を密にし、最善の治療環境の実現を目指しています。このコーナーでは、当院の登録医として連携いただいている医療機関を紹介いたします。

★ 木村メディカルクリニック



外来だけでなく院長を含む数名のドクターで訪問診療も行っています。川西能勢口駅前に開院以来、24時間365日の訪問体制をとり地域の患者様が安心出来るよう努めています。CT、各種エコー、脳波、夜間睡眠検査、24時間心電図など多くの検査が可能です。看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が25人程在籍し連携しながら診療しています。

住所 川西市小花1-6-18 N&Hビル2階
電話 072-767-7709
診療時間 9:00~12:30(平日)、9:00~13:00(土曜日)、16:30~19:30(月・火・水・金)
休診日 木曜日・土曜日の午後、日・祝日

★ 植田循環器内科クリニック



猪名川町の植田循環器内科クリニックです。患者さんの体と心の健康を大切に、患者さんに寄り添いながら日進月歩、進化する医療に取り残されることなくエビデンスに基づいた医療を提供し、川西市立総合医療センターをはじめ基幹病院と病診連携を取りつつ地域に根ざし、安心して通って頂けるかかりつけ医としてお役に立てればと考えております。

住所 川辺郡猪名川町白金3丁目9-8
電話 072-767-2100
診療時間 8:30~12:00(月~土)、16:00~19:00(月・火・水・金)
休診日 木曜日・土曜日の午後、日・祝日